



大石 和弘 (58才)

会社名 JR九州電気システム株式会社
就 任 令和5年6月26日
 代表取締役 社長
出身地 福岡県太宰府市
趣 味 街歩き

人生観 人間万事塞翁が馬

自己紹介

令和5年6月にJR九州電気システム株式会社の代表取締役社長に就任しました大石と申します。よろしくお願いします。

私たちの会社は平成元年（1989年）の創立から35年目を迎えました。以来「JR九州グループ」の一員として、九州新幹線をはじめとした新幹線建設工事や大規模高架化工事などの鉄道電気工事のほか、駅ビルに代表される建築設備工事、また、通信事業や太陽光発電事業などの新しい分野にも事業を拡大し、創立30周年となる令和2年（2020年）1月には社名を「JR九州電気システム株式会社」に変更して現在に至っております。

私個人のこれまでの経歴をご紹介します。生まれ育ったのは福岡県太宰府市で、当時の国鉄鹿児島本線と西鉄大牟田線の両方に挟まれた、鉄道には馴染み深い地域で過ごしました。当時の沿線住民は、国鉄を「汽車」、西鉄を「電車」と呼び分けており（既に鹿児島本線は電化されSLは姿を消してはいたのですが…）、運行本数も少なかったことから、国鉄といえば、普段使いではない遠出のための乗り物というイメージが強かったです。決して印象が良いとはいえなかった当時の国鉄でしたが、レールを辿れば全国の街につながっている、そんなロマンを感じさせるところはありました。大学を卒業する頃、国鉄が分割民営化され、九州にも新しい鉄道会社が誕生することになりました。時はバブルの最中、技術系でもあり、好景気に沸くメーカーとの間で迷いありましたが、地元で貢献でき、「新会社」という可能性にも惹かれ、JR九州に入社しました。

JR九州での業務は、主に乗務員や車両、列車ダ

イヤ等を管理する部門が長く、「電気設備」という意味では、直接的に保守や工事に携わることはありませんでした。しかしながら、乗務員や車両を含めた、大きなシステムとしての鉄道技術の重要な構成要素として、電力設備や信号設備、通信設備の機能や仕様に関わる機会は多くありました。特に、平成16年（2004年）の九州新幹線部分開業のプロジェクトに関わった際は、東海道山陽新幹線に先駆けて導入された新型のATC（自動列車制御装置）に合わせて、乗務員のオペレーションに関するルール等を一から作り上げなければならず、苦労も多かったですが、完成した時の達成感も大きく、印象に残っている仕事です。

JR九州のグループ会社では、過去にバス事業の会社や駅業務及び清掃事業の会社の経営に携わり、当社が3社目となります。様々な業種を経験しましたが、やはり重要なのは事業を支える「人」です。コロナ禍を経て、働き方を含めた人々の意識や行動様式は変化しましたが、対話と腹落ち感を大切にしながら、社会の重要インフラである電気設備に関わる皆さんの働きがいを高め、安全最優先の組織風土を築いていきたいと考えています。

業界での経験に乏しい若輩者ではありますが、福岡電業協会の会員の皆さまと共に、地域と業界の発展のために尽力してまいりますので、今後ともよろしくお願いします。

岡本 昇 (61才)



会社名 ダイダン株式会社
 九州支社
就 任 令和5年4月1日
 九州支社長
出身地 岡山県岡山市
趣 味 ふるさと納税で集めた九州焼酎で晩酌

人生観 「置かれた場所で咲きなさい」

自己紹介

令和5年4月1日付でダイダン株式会社九州支社長に就任いたしました岡本と申します。どうぞよろしくお願いします。

私は、岡山市で生まれ育ち昭和60年にダイダン

横顔紹介と随筆

(旧社名 大阪電気暖房) 大阪本社に入社し、以来35年間近畿地方の空調衛生設備の現場勤務並びに管理部門に従事し、その後3年間東京本社で勤務しておりました。東京への転勤はちょうど2020東京オリンピックが開催される年で、非常に楽しみにしていましたが、折しも新型コロナウイルスの蔓延で東京都が非常事態宣言を発令した、まさにその日に京都駅からガラガラの新幹線で移動したことは、おそらく一生忘れられない出来事になると思っております。その後ご存じの通りオリンピックは1年延期、無観客での開催となりせっかく東京に住んでいながらオリンピック気分もテレビ中継での満喫?となっていました。

都会の便利さが馴染んできた3年間が経過する直前に九州への転勤を命ぜられ本年4月に赴任してまいりました。

人生には様々なタイミングがあるようで、今回の転勤では新型コロナが5類に移行され社会生活もアフターコロナとなり、以前のような活気が戻り、恩恵を九州で受けることとなりました。

九州勤務は初めての経験ですのであらゆる面で楽しみにしています。

まずは九州の食べ物でしょうか。赴任から半年程度が経過しておりますが、博多はラーメンと聞いておりましたが以外?にもうどんの発祥が福岡で、しかもうまい!

大阪の友人には福岡は「うどんやで」と宣伝に励んでおる次第であります。

以前テレビ番組で福岡出身のタモリさんが「うどんに腰はいらない」とおっしゃっていましたが納得のコメント。水炊き、もつ鍋、焼き鳥に至っては私がここ云々いう必要もなくテッパンの食文化。ああコロナが収束して本当に良かったと感じる日々であります。

九州には多くの温泉があり、これも楽しみで高速道路網が整備されていて休日が楽しみとなっています。おっと忘れてはならないのが九州の焼酎。私としては香しい芋焼酎が晩酌の定番となっております。

自己紹介はこのくらいとして、少し仕事の話させていただきます。

九州赴任に際し支社社員にお願いしていることは『人の話をよく聴くこと』であります。特に部下から

の話は最後まで聴ききることを管理職にはお願いしています。

組織はコミュニケーションを大切にすることだと皆さん理解していますが、そもそもコミュニケーションは聴くことから始めることだと思っています。

弊社九州支社は古くから九州のお客さんに恵まれお世話になっております。

九州支社は1932年に当時九州出張所として開設されたと記録が残っております。犬養首相暗殺の年だそうです。手前みそで恐縮ではありますが、諸先輩の方々が歴史を長く積み上げてこられ、これを引継ぎ将来の支社に引き継いでいくことが私に課せられた使命と感じ日々精進してまいりたいと思っております。皆様方のご指導ご鞭撻のほどどうかよろしくお願いいたします。

また貴、福岡電業協会殿の益々のご発展ご活躍をご祈念申し上げますとともに微力ではありますが末席より尽くしてまいりたいと存じます。



土井 隆太郎 (35才)

会社名 株式会社サン電工社
就 任 2021年9月1日
代表取締役社長
出身地 福岡県福岡市
趣 味 キャンプ、釣り

人生観 七転び八起き

自己紹介

令和5年より復会いたしましたサン電工社の土井と申します。当社は10年ほど休会させていただいたのですが、代表交代を機に再度入会させていただきました。よろしくお願いいたします。

当社は昨年60周年を迎えまして、電気工事・通信工事を生業としております。電気工事では施設や工場の電気設備改修や信号機の建設工事、変電所の改修工事を行っております。また、通信工事では光ファイバーを使った通信インフラの構築や個人法人向けのインターネット回線の開通、携帯電話基地局の建設、道路情報版やCCTVなどの電気通信設備の設置工事などを行っております。弊社は令和3年に代表

交代をいたしまして、私で3代目になります。経営理念である「社会の発展に寄与することが会社の成長につながり、社員の物心両面の幸福を実現する」を目指して、日々奮闘中です。

私個人のことになりますが、昨年3人の子供が生まれまして、長男・長女・次女の賑やかな家族とともにパパ業務を日々奮闘中です。私が子供の頃は、小学校からラグビーを始め中学まで草ヶ江ヤングラグーズという地域のラグビーチームに所属していました。毎週の過酷な練習がキツく、日曜日が来るのが嫌でしょうがなかった思い出がありますが、ここでチームスポーツの楽しさに気づいたり、基礎体力をつけられたことはとても良い経験だったと思います。

その後は高校生までを福岡で過ごし、大学入学を機に東京へ上京しました。そのまま東京で就職し、26歳で福岡へ戻り、サン電工社に入社しました。入社後は信号機の建設工事を行う部門に配属され、東浜の交差点の信号機改修工事の現場代理人を行いました。初めての代理人業務では毎日のように材料の忘れ物をしたり、工程が予定通りいかなかったりと全く思うように進められませんでした。現場責任者のプレッシャーや過酷な真冬での夜間作業などを身をもって経験できたことは、現在の社長業でも活かされているように思います。

その後は通信インフラの部門に配属されたり、営業部門に配属されたりと様々な部門を経験して、33歳で先代からバトンを渡されました。社内を見渡せば年上の部下ばかりで、業界に顔を出せばベテランの先輩方ばかりという状況ですが、ありがたいことに業界の先輩方からは温かく声をかけていただき、たくさんの学びを貰っています。

まだ人生経験も浅く、右も左も分かっていない若輩者ですが、少しでも協会の役に立てるよう邁進していきますので、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。



岸 広明 (54才)

会社名 株式会社弘電社 九州支店
就 任 令和5年4月1日
九州支店長
出身地 東京都葛飾区
趣 味 旅行
(史跡や神社仏閣巡り・美味しいものを食べて呑むこと)
スポーツ観戦
(球技全般・プロレス)

確たる言葉ではありませんが、自分自身の心に思っておりますのが、「何を持って最悪なのか、何を持って最良なのか。」です。
全ての物事(自分の行動・家庭・仕事・学)には、良し悪しの両面があると思っております。いい場面(場所)ばかりに目を付けていると悪い部分が全く見えない。反対に悪い場面(場所)ばかりに目を向けるといい部分に全く気が付かない。たった一つの状況で物事の判断を全てとしないよう心に、余裕を持つこと。

人生観

自己紹介

令和5年4月1日に株式会社弘電社九州支店長に就任致しました岸 広明(きし ひろあき)と申します。宜しくお願い致します。

私の生まれ育った所は、東京都葛飾区高砂です。高砂と言ってもほとんどの方が何処ですかと尋ねられるので、必ず言いますのは柴又の隣ですと答えます。ある程度の方は、ああ〜そこねと理解をして頂いております。柴又帝釈天と男はつらいよの寅さん及び名物の草だんごは今でも絶大な人気であると感じています。(笑)

当社に入社したのは、1992年(平成4年)4月です。

「バブル世代」とは言われたか言われなかった最後の世代?でありましたが、当時は財テクブームや消費過熱がありかなりの時代であったと感じています。また就職活動においても当時は、好景気の波で各企業が多角化を図り、各所での人手不足であり就職活動は売り手市場であった中での入社でありました。弘電社は、創業1910年(明治43年3月)の歴史がある会社です。

入社後に配属されましたのは、東京駅周辺の営繕改修現場でそこに7年間携わっておりました。主としていた工事内容は、テナントビルの営繕工事で電灯・コンセント工事がメインでありました。配属後7年目で部署異動に伴い新築現場を経験する事とな

横顔紹介と随筆

りました。最初は戸惑いながらでありましたが何とか現場についていく事が出来まして、営繕改修工事現場では経験出来ないことを幅広く多く事を吸収することができ良かったと感じております。また、内線の電気設備工事においてはその場のプロフェッショナルの方との色々な面で携わることがあり、何事も真剣に取り組む姿勢を学ばせて頂きました。

さて、近年の建設業界(電気事業)では、ところにより事業規模縮小や削減及びM&Aと協業での活動を行っているのが現状です。また、2024年4月より「働き方改革関連法」が施行されますので若手・中堅技術者がベテラン技術者のノウハウを如何に時間が限られている中でスムーズに伝承を行う事が大事であると考えています。その為には、業務効率化のDX促進を有効かつタイムリーに行い、自社の現状を整理し把握し真の体制作りに取り組んでいきたいと思っております。

企業理念である電気設備を「つなぐ」技術を核に、住みよい社会づくりに、未来のサステナビリティに、エンジニアリング力と創造性豊かな発想で貢献する。を心にいれ邁進して参ります。

また、福岡電業協会の皆様と共に電気業界の発展に努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



神田 識二郎 (58才)

会社名 株式会社佐電工
福岡支店
就 任 令和5年7月1日
支店長
出身地 福岡市東区
趣 味 ラグビーを観戦しながら美味しいギネスビールを飲むこと

人生観 「努力は運を支配する」

自己紹介

令和5年7月から株式会社佐電工福岡支店 支店長に就任しました神田識二郎(こうだつねじろう)です。弊社は佐賀に本社があり、福岡支店は熊本、鹿児島、沖縄の営業所を管轄しています。

現在は九州電力からの出向ですが、これまで福岡、熊本、鹿児島、長崎で勤務を経験し、それぞれ地域の皆さまにお世話になりました。

私の横顔は、仕事以外ではラグビーに心血を注いで参りました。地元、福岡高校でラグビーに出会い花園を経験し、早稲田大学に進学し最終学年に大学選手権優勝、さらに日本選手権で社会人を破り日本一になりました。昭和63年に九州電力に入社し、ラグビー部(現:キューデンヴォルテクス)に所属、選手としては日本代表にも選ばれました。引退後は九電チームの監督としてトップリーグで指揮、続いて副部長としてチーム運営に携わり、九州のラグビー強化と普及育成のために尽くして参りました。

“ラグビーは組織で動くスポーツ”です。それぞれ個性ある役割(ポジション)が与えられ、試合が始まれば監督からは都度指示がなく、自分たちで考えてチームを機能させないといけません。ラグビーを経験された有名企業の経営トップは、ラグビーで培ってきたことがそのまま会社組織でも生かせると語っているほどです。

是非、ラグビーを生観戦していただき、その迫力と選手個人がどのようにチーム組織として連動しているのか注目いただくのも面白いと思います。最後にラグビーへの熱い思いを表す言葉を紹介します。「ラグビーは、少年をいちはやく大人にし、大人にいつまでも少年の心を抱かせる」(仏代表元主将のジャン・ピエール・リーブ)



高松 健司 (58才)

会社名 西鉄ビルマネジメント株式会社
就 任 令和3年4月1日
代表取締役社長
出身地 福岡県小郡市
趣 味 旅行、街歩き

人生観 メリハリをつける

人との付き合い

西鉄ビルマネジメント株式会社の高松健司と申します。旧来から西鉄電設工業株式会社として皆様にはご愛顧賜っておりましたが、会社再編により令和5年4月1日をもって西鉄ビルマネジメント株式会社と合併をし、新生「西鉄ビルマネジメント株式会社」として再始動をいたしました。今後

とも引き続きご愛顧賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、私は平成元年4月に西日本鉄道株式会社（以下西鉄）に入社をいたしました。

西鉄への入社動機は、西鉄沿線である小郡で生まれ育ち、我が家（両親ともに車の免許を所持していなかった）では福岡や久留米などに出かける際には必ず西鉄電車を使っており、「西鉄」という会社が子供のころから非常に身近な存在であったという単純なものでした。

ですので、入社後の配属面談において配属先の希望を聞かれた際は当然のように鉄道部門と答えておりましたし、実際に鉄道以外の部門で働くことは考えておりませんでした。

ところが実際に配属されたのは、労務部労務課という全く鉄道部門とは異なる部門であり、労働組合との折衝や協議を主たる業務とする部署でした。当時の私にとっては、労働組合と交渉する仕事など全くの想定外であり、非常に戸惑い悩み、入社早々でありながら転職さえも頭をよぎったものでした。

労務課への配属当初、昼間は仕事らしい仕事もなく、与えられた仕事は電話当番と労働基準法や労働協約を読むことぐらいでした。その代わり夜な夜な先輩社員とともに労働組合のメンバーと飲み連れで行かれ、「酒の飲み方」についてはしっかりと教育を受けたものでした。当時は、「本当にこんなことでよいのか?」「他の同期はバリバリ仕事をしているのに…」というような焦りがありました。しかしながら、今振り返ってみると、本当に良い勉強をさせてもらったと思っています。

私は、労務課以降、バス部門、国際物流部門、物流子会社そして現在の西鉄ビルマネジメントと様々な部門・会社で勤務させていただきました。業務の内容そのものは、それぞれの部門・会社で全く異なるものであり、転勤するたびに新入社員のように一から教えてもらい、また勉強しなければなりません。

しかしながら、業務内容は全く異なるものの共通していることもありました。それはいずれも「人」が働いているということです。私は、どんなに機械技術が進歩したとしても仕事の出来具合は最終的には、それぞれの担当者によって決まると考えていま

す。人が100人いれば、100通りの考えがあり、感情があります。会社を安定的に運営していくためには、その考えや感情を理解し、また最大公約数的に集約し、会社が目指す方向にうまく導く必要があると思います。

まだまだ私も未熟者ですが、労務課時代に勉強させてもらった「酒の飲み方」や労働基準法などは、経営者となった今、従業員その他関係者の皆さんと意見交換し、お互い理解し合い、それを会社運営に生かしていくことに本当に役に立っていますし、有難い経験をさせてもらったと思っています。

今でもときどき、昔の職場の仲間と酒を飲むことがあります。本当に楽しいひと時です。

私は、これからも人の意見を尊重し、理解し合い、付き合っていきたいと思っています。



大野 賢 (57才)

会社名 西部電気工業株式会社
就 任 令和5年7月1日
 執行役員 設備ビジネス事業部長
出身地 熊本県熊本市
趣 味 ツーリング、キャンプ、旅行

「凡事徹底」

何でもよいような当たり前のことを徹底的にやる続けることで大きな結果を出すことができるという言葉です。

私達のビジネスに当てはめると「信頼」だと思います。

人生観

信頼を積み重ねることで大きなビジネスにつながり、新たな人脈を築けることもできます。同時に社員、協力会社との「信頼関係」も大事です。

組織一体となり信頼を無くさないよう安全、品質、工期を遵守し日々業務に取り組んでおります

自己紹介

令和5年7月1日付けで西部電気工業株式会社設備ビジネス事業部長に就任しました

大野 賢（おおのさとし）と申します。

昨年まではソリューションビジネス事業部に在籍しておりました。

ソリューション分野から電気設備業界へ異動になり不慣れな所もありますが福岡電業協会 会員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

横顔紹介と随筆

西部電気工業は総合建設業としてNTT様の通信インフラ工事を中心に事業展開しております。大きく分けて7つの事業を展開しています。

ICTソリューション事業、ソフトウェア開発事業、土木・情報インフラ設備事業、建築設備事業、環境プラント事業、太陽光発電事業、情報通信エンジニア事業です。

入社は平成元年（1989）4月です。平成と共に私の会社生活は始まりました。

当時はバブル全盛期で大変華やかな雰囲気でした。

配属先は大阪になり、「北新地」や「なんば」に高級車が二重三重と路上駐車されていたことを思い出します。夜の町も人が多く活気がありました。

情報系分野を拡大する目的で、私は情報システム部へ配属になりNEC大阪へ出向になりました。当時はNEC製汎用機（ACOS4）で通信機器メーカーのシステムをCOBOL言語で開発していました。プログラム開発、ネットワークSEを経験しその後、ソリューション営業になりました。

1994年頃から情報系はクライアントサーバーへ移行されWindows3.1,95,98,XPとOSも変わり同時に電話も固定からPHS、携帯、スマートフォンへ変わって行きました。

通信インフラはモデムからADSL、光通信へ変わり高速化になりインターネット環境も一気に普及しました。

30代後半の頃、某大学へサーバーと大型UPSの導入、サーバー室の空調工事など、サーバー構築と電気設備工事を受注しました。UPSとサーバーはすべてLAN接続され負荷の状況、ハード不具合など一元管理され電気と通信が密接につながってきたと感じました。

20代、30代、40代と時代の変革を体験でき貴重な経験を積むことができました。

西部電気工業の電気設備系のイメージはあまりないと思いますが設備部門も30年の歴史があります。官公庁、民間工場、倉庫、マンション、オフィスビル新築、増築建物の電気工事、機械設備（管）工事等を受注し各種設備の構築と現場管理業務を行っています。

2024年4月より「働き方改革関連法」が建設業へも正式適用となります。

我々の職場でも時間外労働、休日労働などの影響も出てくると思いますが組織一体となり前向きに取

組んでまいりたいと思います。ソリューション事業部時代に培った経験を活かし「現場DXツール」等も積極的に導入し効率的な運営を目指したいと思います。

建設業は、人々の暮らしを支える大切な職業です。自分の仕事が建物や構造物として形に残ります。竣工すれば大きな達成感を感じることができます。

今後は国土交通省が掲げる「新3K」（給与・休暇・希望）に魅力を感じて建設業を目指す人が増えるよう当社も努力したいと思います。

最後になりますが、福岡電業協会の発展と電気設備業界の更なる成長に貢献できるよう微力ではございますが努力してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



中平 賀教（46才）

会社名 藤工業株式会社
福岡営業所
就 任 平成31年4月1日
営業所長
出身地 高知県
趣 味 ゴルフ・サッカー観戦

人生観 失敗すればやり直す。やり直してダメなら、もう一度工夫し、もう一度やり直す。

自己紹介

福岡電業協会 会員各社様、初めまして、藤工業（株）福岡営業所長 中平 賀教（なかひら よしのり）と申します。宜しく願い申し上げます。

私自身は高知県土佐市宇佐町という町で、桂浜まで車で10分の海沿い出身です。家が海に近いことから、親に「原付バイクの免許を取りに行く前に、船の免許を取れ」と言われ、酔い止めを飲みながら4級小型船舶の免許を取得しました。又、スポーツは小学校から社会人までサッカーをしており、体力とお酒には自信がりましたが、お酒は入社後、歓迎会で上司に挑みましたが潰されました・・・しかし、今でも大好きで家で晩酌はしております。

福岡県では大学入学し、卒業後、藤工業に入社致しました。平成13年に入社し、北九州に配属、2年後には福岡配属となり、現在に至るところです。入

社2年日以降、福岡に配属になった当時の福岡営業所は福岡市東区アパートの一角でした。当時は営業所の社員も協力業者も少ない状況で、中でも印象に残っている現場は初めて一人で常駐したホテルの現場でした。現場は客室に海外製の配線器具を多数使用しており、調光スイッチ等は配線・結線もなかなか理解出来ずに悩んだり、海外の配線器具の発注間違いをしたりして、当時は現場から逃げ出そうと考えた時期もありました。今思えばいい経験であり、非常に勉強になった現場でした。

今では福岡営業所も博多区比恵町に移転し、少しずつ社員・協力業者も増えていき、博多駅・天神周辺再開発のメイン現場でも施工出来るようになりました。これからも、福岡県内の一つでも多くの建物の現場施工に携わっていきたいと考えております。

2024年からは働き方改革に伴い、建設業界の人材不足は今以上に深刻な状況になってくるとわれ、若い担い手の取達が業界全体の課題となっています。当社も働き方改革・人材不足が課題になっており、電業協会各会社様とコミュニケーションを図り、問題解決の糸口を図りたいと考えております。又、福岡電業協会の会員様と共に、福岡の電気業界の発展、業界全体の課題にも尽力して参る所存です。

趣味でゴルフをしておりますが、下手ながらも継続しており、又、お酒も好きですので機会あればお誘いください。

まだまだ未熟な私でございます、諸先輩方から色々な事を学びながらやって参りますので、ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。



木村 次郎 (47才)

会社名 日本リーテック株式会社
九州営業所
就 任 令和5年4月1日
九州営業所長
出身地 福岡県北九州市
趣 味 アウトドア、DIY

人生観

できるかできないではない、やるかやらないかが全てである。

自己紹介

令和5年4月1日付で九州営業所長に着任いたしました木村次郎と申します。福岡電業協会会員の皆様、宜しくお願い致します。

この度、このような機会を頂いたことで、今までの仕事を振り返ることができました。その際に1番初めに思い出すのは、苦勞した仕事です。それは経験豊かな皆様も同様だと思います。

私は以前、東日本大震災の復興工事に従事しました。場所は岩手県陸前高田市、大船渡市です。場所からも想像されていると思いますが、何もかもが津波に流された地域です。

そこでは鉄道路線の代替であるBRT化工事に携わせていただきました。そこで1番苦勞した部分は、一方通行の狭い軌道上を走るバスを安全に離合させるシステム作りです。突貫工事でありながら、施工だけではなく、メーカーや発注者様と開発から行いました。開発も思うようにはいかず、試行錯誤を繰り返しましたが、約2年間で無事に竣工することができました。

開通式では、地元の皆様と笑顔で開通を祝い、一緒に工事を進めた地元協力会社の皆様や仲間と胸を熱くして喜びあったことを鮮明に覚えております。また、震災後に鉄道が流され為、8キロの道のりを2時間以上かけて線路上を歩いて通う地元高校生の役に立てたのではないかな？と自分の中で喜びを感じていました。

こうした経験の中で、我々が携わる電気工事の技術が世の中の役に立っているという誇りも持つ様になりました。その想いも含めて後輩に伝えていこうと思います。

少子高齢化社会が進み、後継者不足や今後の電気工事を担う人材確保、育成が急務だと思っております。働き方改革に伴う「労働時間の短縮」それと同時に、やりがいを感じてもらう「環境づくり」という超難関に挑む立場を与えていただいたと使命感に感じております。そこで福岡電業協会の皆様とともに大きな課題解決を目標に掲げ、この意義ある仕事を継続し、今後の業界の発展に寄与できるよう進んで行ければと考えております。皆様方のご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い致します。

写真コンクール（第43回）

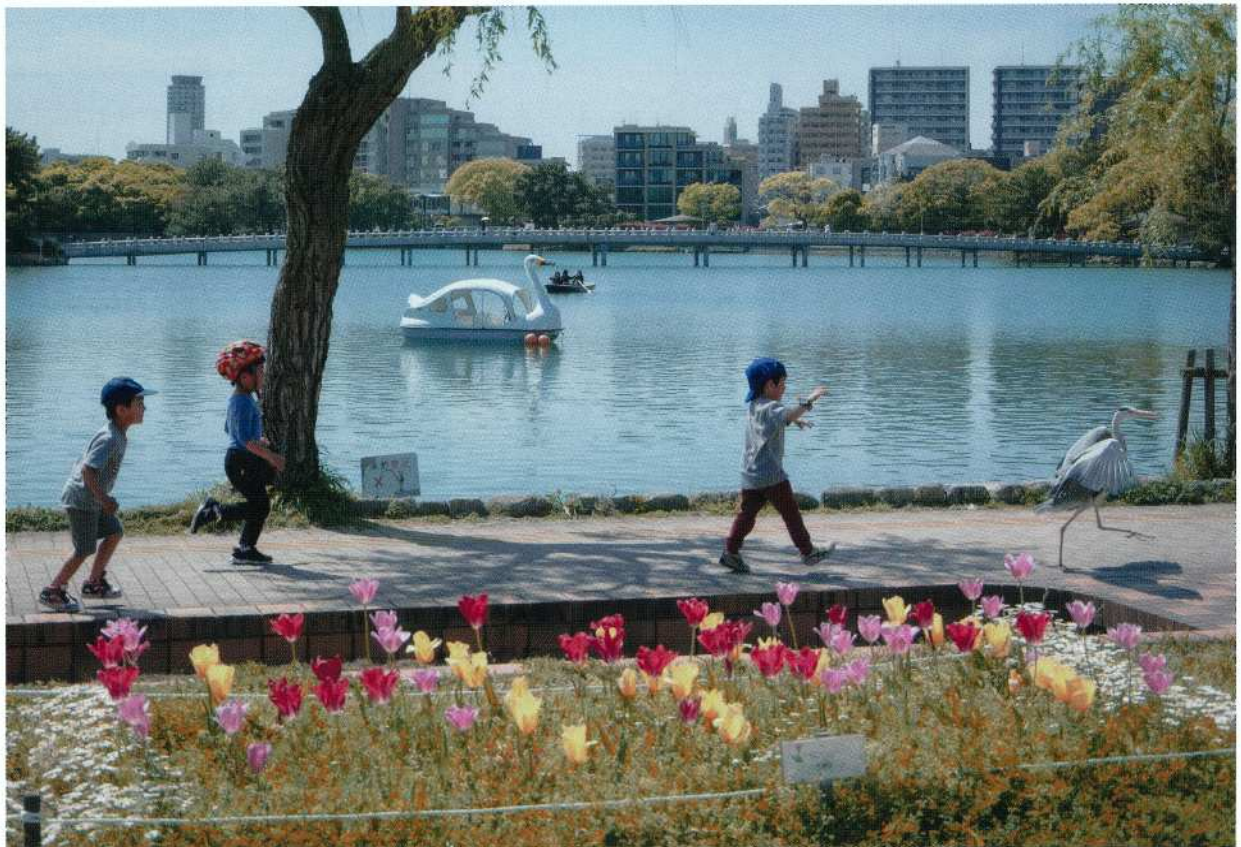
12月12日(火)、写真コンクール審査会がNHK文化センター講師の大熊信雄氏を審査委員長に、技術委員会担当分科会のメンバーにより執り行われました。

応募作品35点。出品者数23名の中から厳正なる審査の結果、金賞1点、銀賞2点、銅賞3点、佳作5点が選ばれました。

参加者の皆様、ご協力ありがとうございました。

次回の写真コンクールもたくさんの楽しい作品、力作の出品をお待ちしております。

金賞



行進隊

大國 亮也(株関電工)

〈講評〉

とてもおもしろいセッティングで、構図もいいです。
チューリップもいい。背景もいいです。

写真コンクール（第43回）

銀賞



う～ん しあわせ～♡
柴田 裕子(住友電設㈱)

〈講評〉
カラフルで、写真の構成がとてもいいです。

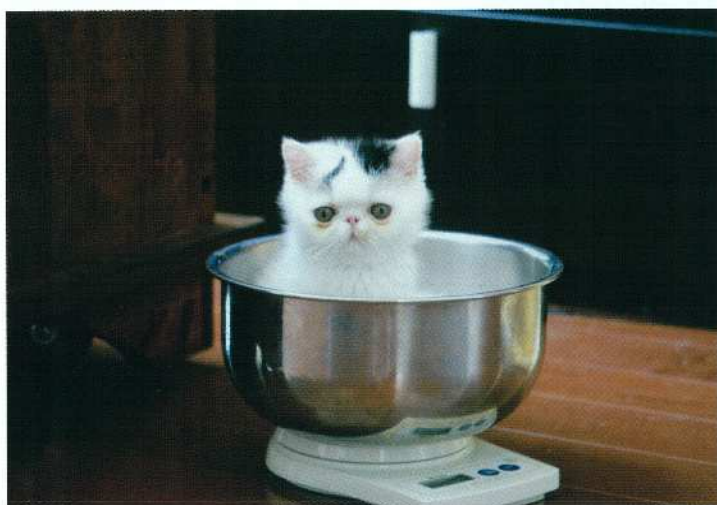


幻 覚
山本 広次(㈱九電工OB)

〈講評〉
飛行機を撮るベテランのカメラマンです。太陽の中に飛行機を入れる人も多いですが、このような撮影方法も素晴らしいです。

写真コンクール（第43回）

銅賞



僕の体重計
島田 いずみ(住友電設㈱)

〈講評〉
ユーモアがあってとてもいいです。左右をもう少し削って猫をアップにするともっといいです。

UPSIDE DOWN
宮田 俊彦(三球電機㈱)

〈講評〉
この瞬間をとらえるのは非常に難しいです。情報・機材・技術が重なって撮れたすばらしい写真です。



碧に映る
岩下 洋二(㈱平和電興)

〈講評〉
貴重な写真です。上手に要らないものがカットされていて、すばらしいです。



写真コンクール（第43回）

佳作

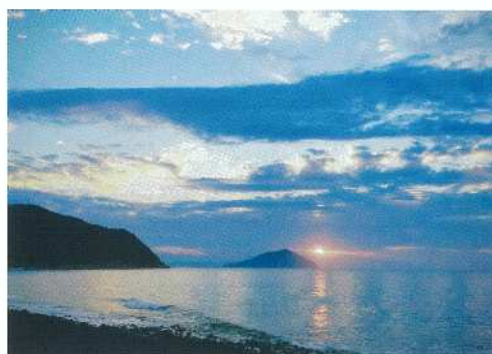


月下美人

東島 敏郎(日本電設工業(株)OB)

〈講評〉

やわらかい露出で、トリミングの仕方がいいです。満開の撮影時間が素晴らしいです。



伊都の夕日

小林 史郎(株九電工)

〈講評〉

雲がとてもおもしろく、夕日が海に反射しているところがいいです。上部の空をもう少しトリミングするともっとよくなります。

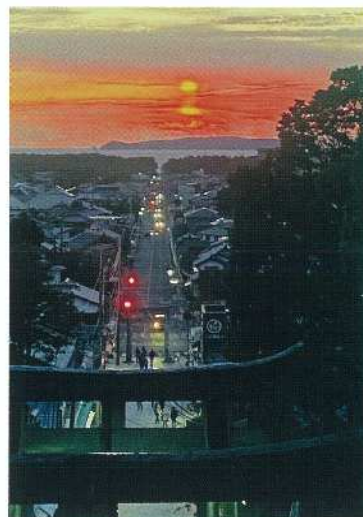


阿蘇遠望

田川 賢二(株平和電興)

〈講評〉

雲とススキがきれいに撮影されていて、阿蘇の特徴がよく出ています。



光の道

佐藤 速志(株平和電興)

〈講評〉

雲の色・夕日・信号の色などとても工夫されています。手前に鳥居が入っていて、力強さも出ていてとてもいい写真です。

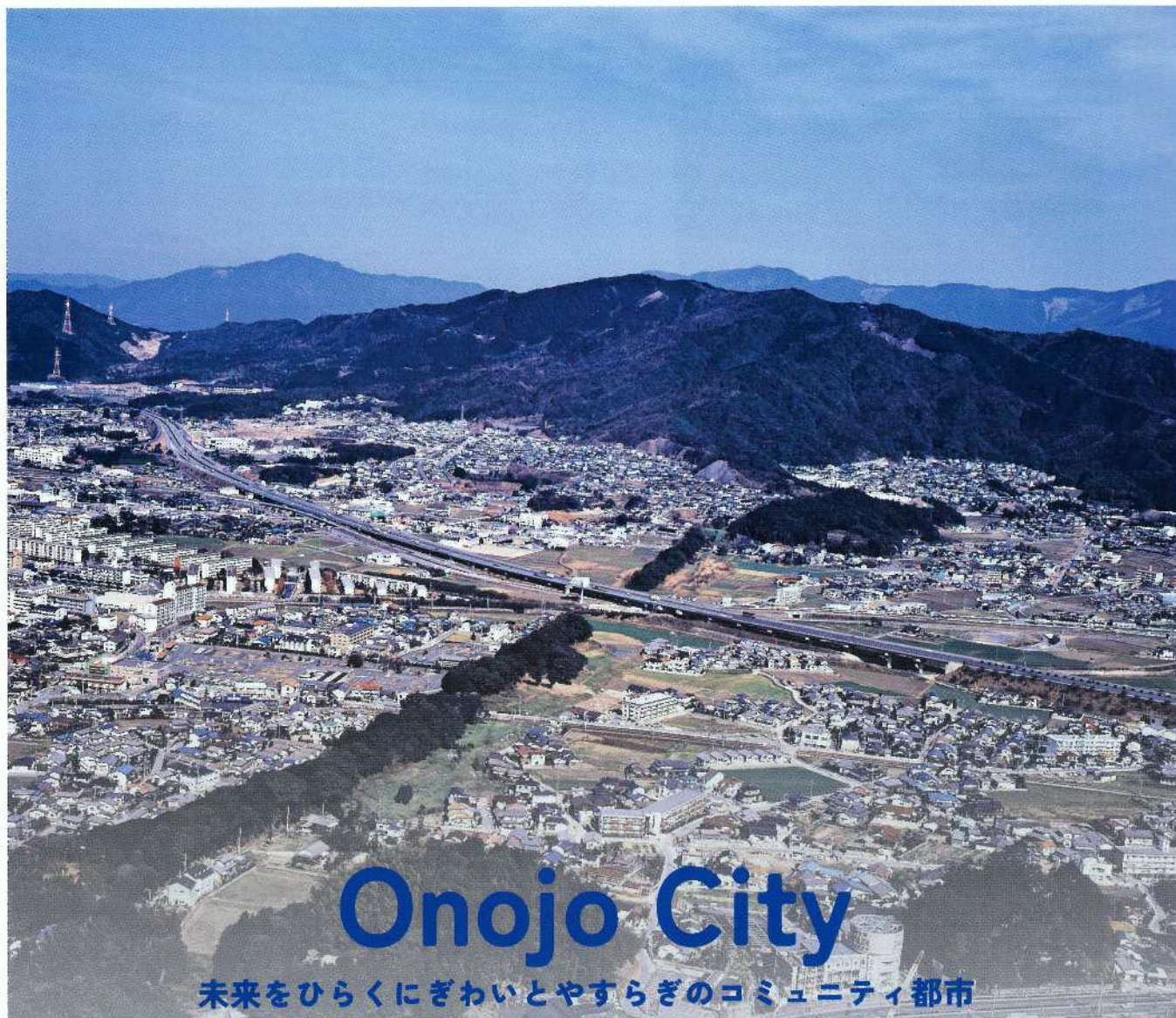


コスモスに囲まれて

松永 辰博(株佐電工OB)

〈講評〉

ポーズが可愛いです。逆光で難しい中、とても上手に撮れています。



Onojo City

未来をひらくにぎわいとやすらぎのコミュニティ都市

古くから、博多と大宰府を結ぶ
交通の要所として繁栄した大野城市。

交通の便に恵まれており
緑豊かな住みやすいまちとして
人口増加が続いています。



大野城市イメージキャラクター
まどかちゃん



大野城市公式ホームページ



大野城市PRキャラクター
大野ジョー

大野城市ってどんなまち

大野城市は、西暦665年水城大堤とともに築かれたわが国最古の山城「大野城」にその名を由来しています。

東北部には四王寺山や乙金山、南部には背振山地の牛頸山があり、都市部としては貴重な緑が残されています。

また、国道3号、JR九州鹿児島本線、西鉄天神大牟田線などが南北に貫通しており、九州自動車道太宰府インターチェンジ、福岡都市高速道路や福岡空港にも近接していることから、福岡都市圏で最も交通の便に恵まれた地域です。

令和5年9月23日(出)・24日(回)に、第41回おおの山城大文字まつりが開催されました。

会場は多くの人でにぎわい、「大」の文字が鮮やかに夜空を彩りました。



人口 103,048人 (令和5年10月末現在)
面積 26.89km²
(山間部を除く市街地面積 約15 km²)

大野城市の人気スポット

大野城心のふるさと館

市民ミュージアム「大野城心のふるさと館」では、歴史・こども・にぎわいをキーワードに「ふるさと大野城」をまるごと体感することができます。大野城跡の百間(ひゃっけん)石垣の高さを体験できる「百間石垣ウォール・クライミング」や昭和20～40年代の農家を再現した「昭和のくらしコーナー」の他、特別展などイベントも盛りだくさん！

1階のここふるショップでは、大野城市の特産品・推奨品の販売や日替わりランチなども楽しむことができます。



大野城いこいの森

いこいの森は南地区の牛頸ダム周辺に位置し、豊かな自然や水辺環境を活かしたキャンプ場や公園があります。子どもも大人も楽しめる場所として、多くの人に親しまれています。



大野城まどかぴあ

「大野城まどかぴあ」を中心に、生涯学習や芸術文化に親しむ市民風土が醸成され、市民が主体となった活動が展開されています。



シリーズ〔郷 土〕

大野城市の郷土料理「鶏ばっかけ」

鶏肉が貴重だった昔、大野城の家庭では親睦の場のメや、来客時のご馳走として、鶏の吸い物の汁をご飯にかけてものを振る舞っていました。汁をご飯に「ぶっかけ」ることから、「ばっかけ」と呼ばれたのです。市内の提供店ではバラエティに富んだ鶏ばっかけが味わえます。



公式SNSでは、最新情報を発信中だジョー！

エックス
(旧ツイッター) X



フェイスブック
Facebook



ライン
LINE



インスタグラム
Instagram



ユーチューブ
YouTube



大野城市のふるさと納税（個人版）

＼いいね！のまち／



現在募集している寄附メニュー

地域づくり

子育て
教育

健康長寿
福祉

都市環境
安全安心

用途を指定しない
(市に一任する)

＼知ってほしいジョー／



大野城市ふるさと納税トップ3

1

老舗あごだしもつ鍋

【大反響！】【1000g】
博多本場もつ鍋醤油味

おかげさまで皆様に大反響！ちゃんぽん麺・菜味はついておりませんが、その分、もつ大増量中！5食分の満足セット。ニラ、キャベツ、ゴボウなどのお野菜との相性は抜群です。



2

明太子SHOP華の実

千曲屋 一口明太子増量
お裾分けにも！

千曲屋自慢の明太子を気軽にたっぷり！200g×6Pの増量規格で大満足の美味しさ。小分けタイプですので、気心した方へのお裾分け、またご近所様への急な御礼返しなど、あると便利！な規格で製造致しました。



3

Small company株式会社

【旨！1.5キロ】主婦必見！
辛子明太子切れ子
“あごとし”でおなじみの博多
まるきた

小分けで便利！
いろいろな料理と
相性抜群！お子様
から大人まで多く
の皆様から大人
気！！500g×3個
入りの個包装で
す。



大野城市のふるさと納税（企業版）

寄附募集プロジェクト1

大野城市に来る・住む・集う推進プロジェクト （心のふるさと館運営事業）

寄附目標金額 4億9,000万円
（令和4年度～令和6年度）

このプロジェクトは、「人々が集いつながりそしてその輪が広がる ふるさと大野城」を基本的な理念に、市民ミュージアム「大野城心のふるさと館」に関する事業を核として、本市に新たな集客と交流の拠点を構築していくものです。

プロジェクトの特徴やアピールポイント

大野城心のふるさと館では、歴史や市内の名所などを市内外に広く発信することで、多数の方々に大野城市を訪れてもらい、にぎわいあふれる魅力あるまち「大野城市」の良さを実感してもらうための取り組みを行っています。これにより、大野城市への移住・定住の拡大にもつなげます。

また、「ふるさと大野城」に誇りや愛着を持ってもらえるように、市民のふるさと意識の醸成につながるための他にない「大野城」ならではの取り組みを行います。



担当者の声



大野城心のふるさと館では、市内小・中学校と連携し、館内外で貴重な歴史や文化財について学ぶ活動を行っています。また、年に数回開催する特別展では、大野城市の文化や歴史に限らず、さまざまな内容の企画を行い、こどもからシニアまでの多くの方に多分野にわたる作品に触れることができる機会を提供しています。大野城市の魅力を持続的に発信し、まちのにぎわいを未来へとつなげていくため、ぜひ皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

（担当：大野城市 心のふるさと館 ミュージアム担当 中園 眞子さん）

寄附募集プロジェクト2

ゼロカーボンシティ大野城推進プロジェクト

寄附目標金額 3,000万円
（令和4年度～令和6年度）

大野城市では、令和3年2月22日「ゼロカーボンシティ大野城」を宣言しました。実現に向けて、共感いただいた企業様とも寄附だけでなく、繋がりや官民連携での事業創出などさまざまな取り組みを実施していきます。



担当者の声



地球温暖化への対策は、人類共通の課題であり、国内外で脱炭素に向けた取り組みが進められています。自然豊かなふるさとを未来に引継ぎ、これからの未来を担う子どもたちが、将来にわたって快適に暮らしていけるよう、循環型社会の構築を目指すゼロカーボンシティへの取り組みを進めてまいりますので、ご理解ご支援のほどお願いいたします。

（担当：大野城市 循環型社会推進課 ゼロカーボン推進担当 福田 菜月さん）

プロジェクトの特徴やアピールポイント

「自然豊かなふるさとを未来に引継ぐ」ため、循環型社会の構築やゼロカーボンシティを目指した環境負荷軽減に取り組みます。

■啓発事業

市民に対する脱炭素意識の高揚や市民行動の活性化のための啓発及び環境教育の取り組みを進めます。

■CO2吸収源の確保

「伐(き)って・使って・植えて・育てる」という森林の循環利用を基本として、荒廃竹林を伐採し、新たに樹木の植栽を行うことで、森林を活用したCO2吸収機能の向上の取り組みを進めます。

■温室効果ガスの排出抑制

省エネの推進、再生可能エネルギーの活用によるエネルギーの脱炭素化などを柱とした取り組みを進めます。

お問い合わせ先 大野城市プロモーション推進課にぎわいづくり担当 〒816-8510 福岡県大野城市曙町2-2-1
TEL 092-580-1806 FAX 092-573-7791 MAIL soukou@city.onojo.fukuoka.jp